



2006

2006年2月14日

JFEエンジニアリング株式会社

イタリアSCグループへの高温ガス化直接溶融技術の供与について

当社はこのたび、イタリア最大手の廃棄物処理企業グループであるソライン・チェッキーニグループ（SCグループ）にごみの高温ガス化直接溶融（ガス化溶融）技術に関するライセンスを供与することで合意いたしました。

SCグループは、創業者のチェローニ会長が一代で築き上げた廃棄物処理を中核とする企業体で、傘下に**50社**以上の企業を持ち、グループ年間の売上げは7億ユーロ（約**980億円**）、従業員は**7000名**にのぼるイタリア最大手の廃棄物処理企業グループです。

今回、同グループがガス化溶融技術を導入するに至った背景には、日本同様イタリアも年々環境規制が厳しくなり、法的要請とともに環境に対する住民意識の変化が見受けられます。そのため、ごみを単に焼却するのではなく、環境に負担をかけずにごみを減容化し、効率的にエネルギー転換・再資源化できる技術としてJFEのガス化溶融方式が高い評価を受け、選定に至りました。

JFEのガス化溶融式ごみ処理プラントは、JFEが数多く建設してきたごみ焼却炉の技術と、高炉操業で培ったノウハウとが融合して生まれたもので、**2003年**に初号機が建設されて以来、現在日本各地で既に6基が順調に稼働し、3基が建設中であり、環境負荷の低い次世代のごみ減容化・再資源化の切り札として各方面から注目されております。

今後、SCグループは、JFEが福山市に建設した発電プラント（**314トン/日**）と同規模なプラントをローマ郊外のアルバーノ地区に建設し、ごみ処理事業の拡充と発電事業を行う計画です。また、同グループは、同様なプラントをイタリアのみならず世界**10カ国**に建設する計画を持っており、JFEの先進技術が、ヨーロッパをはじめ世界のごみ処理、環境保全に大きく寄与することが期待されております。

以上

(参考) 技術供与の実績

- (1) 火格子技術のデンマーク フェルント社とのクロスライセンス
- (2) 排ガス処理技術のフランス アルストーム社への供与
- (3) 焼却炉技術、排ガス処理技術の韓国 JINDO社への供与
- (4) プラスチックボトル材質・色選別技術、ガラス瓶色選別技術のオーストリア IUT社への供与
- (5) ストーカ式焼却炉、半乾式排ガス処理、無触媒脱硝システムの中国常州三立環保設備工程有限公司への供与

●本件に関するお問い合わせは下記にお願い致します。
JFEエンジニアリング（株） 総務部(広報担当)